

皆さん、本日は御苦勞様です。秋田ダンプ支部の高橋です。皆さん、今年の春闘の結果はどうでしたか。安倍総理は「デフレ脱却を目指し、景気回復実感を収入UPという形で国民に届けたい」と強調し、政、労使とも賃上げを前提に交渉する異例の春闘になったはずですが、皆さんの支部、分会ではどうでしたか？ 地方の中小企業では、なかなか反映されなかったのではと思います。何故かは、皆さんの方がよく分ると思います。

さて長年ダンプ支部では、使用促進闘争の運動を取り組んで来ましたが一昨年あたりから、件数は少ないですけれどもダンプの安全・安心の担保のできる単価、直接工事費をもらえる現場が増えてきました。

今年は軽油価格の高止まり、消費税のUPなどのため、モロモロの経費上昇でそれらを差し引いたら今のダンプの市場単価ではとても生活出来ません。しかし、現在も安い単価で働いている一人親方が多くいます。

白も青ナンバーも関係なく経費を引いて、人並みの生活が出来る労務費が残る単価を勝ち取ること、市場単価の引き上げにつなげることがダンプ支部の使用促進闘争の本来の運動です。なかなか思う通りに実現出来ませんが、さらに要求実現にむけて頑張って運動します。

トラック・ダンプデモも、今年で18回目です。使用促進闘争・組織拡大などで結果を残す年にしたいと思います。以上で簡単ですが、秋田ダンプ支部の決意表明とさせていただきます。

秋田ダンプ支部副委員長 高橋正彦

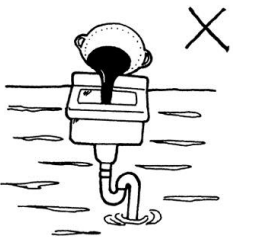


トラック・ダンプデモ出発集会

暮らしの知恵袋

◆流し台の排水口を清潔に

暖かくなりました。流し台の排水口の衛生管理には特に気を付けましょう。排水口の掃除は怠りがちですが、汚れがたまると臭ってきますし、ゴキブリを引き寄せます。ときどき、古歯ブラシ、古布などでゴミ受け、わん、トラップを洗います。ただ、汚れやぬめりがひどいので、かなり気合いが要ります。重曹と酢を使うと、完璧とまではいきませんが、手軽に掃除できます。寝る前に、1カップほどの重曹を排水口にたっぷりふりかけ、60～70℃に温めた酢1カップを排水口に注いで、そのまま一晩おき朝、水で洗い流します。炭酸の泡が汚れや臭いを分解してくれます。



◆排水で気をつけたいこと

油汚れは少しぐらいなら、とそのまま排水口に流しがちですが、固まった油は詰まりや臭いの原因。皿や鍋の油汚れは古新聞や古布で拭き取ってから洗います。古い油は古新聞などに吸い取ってゴミとして捨てましょう。

使わなくなった液体洗剤を排水口に捨てるのも、排水管の中で泡立って逆流する恐れがあるのでやめましょう。紙に吸わせてゴミとして捨てます。

消毒を兼ねるつもりでも、熱湯を排水口に流すのはいけません。塩化ビニール製の排水管の変形や劣化につながるので、冷ましてから流します。

流し台の排水口の上部の菊割れは撤去してもいいですが、ゴミ受けはきちんと付けておき、ゴミが少しでもたまったならこまめに古新聞に包んで捨てます。ゴミ受けは、深いものだと取り扱いにくいので、浅いものに取り換えるといいでしょう。

その下のわんも外してはいけません。排水口のトラップに水をためて、虫の侵入や臭いを防ぐものです。